

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.4 R2, 7, 17

水着になって思いきい!

濡れたって平気、だって水着だもん!小雨が降る日はもちろん、プール開き後、子どもたちは水着に着替えて園庭に出ます。水鉄砲に色水作り、泥んこ遊びに砂遊び、ままごと遊びや虫探しも伸び伸びと行っています。

さあ、誰に向けて水を発射させようかな?水を汲んだり、発射させるのにもちょっとしたコツが要ります。子どもたちはやってみて、真似してみ、考えて習得していきます。活発に動き回る子のかいる一方で屋根から滴る水の様子を観察している子もいました。同じ遊びをしていても、面白いと感じることは人それぞれ。だから、みんなと遊ぶのって楽しいんだよね。

子どもたちと一緒に遊ぶ

「温かいね」「お山ができたね」と私たちは子どもと一緒に遊び、伝え合うことも大切にしています。一緒に遊ぶと「へ～こんな使い方をするんだ」「こんなところに楽しさを感じているんだ」と子どもの面白さ、不思議さに気が付くことが多く、「もっとこうしたら面白くなるかもしれない」とワクワクしてきます。子どもと遊んで、とにかく楽しい!こんなやりとりに幸せを感じています。



泥んこになった足を丸太にペタッ!!足形ができました。こっちにもペタッ!!もう一回ペタッ!!と繰り返していると、足形ははっきり写るところと写らないところがあると気が付きました。「そうか、こっちは木が乾いているから写りやすいんだね」と自分で分析し、納得したようです。

今年の梅雨は長く続き、来る日も来る日も雨…雨…雨…。そんな日ばかりだからか、早く外に出たい子どもたちは空の様子をよく見ていました。「あっちの雲、ちょっと黒いよ」「また雨が降りそうだね」と敏感に天気の変化に気が付き、伝え合う様子が見られました。そして空が明るくなると待ってましたと園庭に飛び出してきました。子どもたちにとって小雨は晴れのうち。全身で雨を受け止め降り方や雨粒の違いを感じたり、雨宿りをしてちょっとしたドキドキ感を味わったりしました。そして園庭にできた大きな水たまりに突進!ジャバジャバと水を蹴りながら歩いたり、ジャンプして大きな水しぶきをあげたり、寝そべて泳ぐ真似をしたり、歓声をあげて遊んでいました。水たまりは子どもたちにとって最高の遊び場です。

水たまりでジャンプ

水たまりに集まって、友だちと一緒にぴよぴよジャンプ。しぶきが跳ねたり、ジャブジャブ音がしたり、何より友だちと一緒に楽しい!幼稚園生活に慣れてきた花組さんの生き生きとした姿が見られました。

水たまりで何を学んでいる?

ただ水や泥の感触を味わうだけでなく、音やリズムを楽しんだり、冷たい温かいという温度の違いを感じたり、深さに興味を持つ子もいました。今は感じて、楽しむことが、これからの学びの基礎になっていきます。



水が出てくるいい場所を見つけました。そこは雨樋の先。屋根に溜まった雨水が樋を伝って流れ出てきます。乳鉢を置き、色水遊びに使う水を受けていました。樋の仕組みを知っているのですね。

子どもたちは見つけた そして、考えた

子どもたちは、園庭のあちらこちらでいろいろな発見をしています。じっくりと向き合っているその姿を私たちは邪魔をせず、見守ることの大切さも感じました。「伝えたい」とこちらに声をかけてくるまでじっと我慢。子どもたちはよく考えながら遊んでいて、感心させられることばかり。明日は何を見つけるのかな?



分かるでしょうか?ここは屋台の天板下。陽が当たらないこの場所に、ネトネトした粘土質の泥があることに気が付きました。友だちと入り込み、泥を掻き集めて感触を楽しんでいます。それから屋根に上るために並べた丸太にご注目!上りやすいように階段状に並べていました。この方が上りやすいし下りやすい!

お宮からセミの声が聞こえ、花壇にはヒマワリが咲いています。梅雨明け、間近でしょうか?

